



日本と海外の教育現場の違い

J23013 今井倫太郎/J23031 小野里七海/J23069 手島洋子/J23073 中道駿一

- DIFFERENCE BETWEEN JAPAN AND OTHER FOREIGN COUNTRIES ABOUT
HOW EDUCATION IS TAUGHT -

班のメンバーはどのような教育を受けてきたのか

調べ学習などでタブレットを使用した。

職業体験学習を中学校の頃に体験した。

外国人との交流
(姉妹校交流)

社会科見学を小学校の頃に体験した。

理系や情報系の内容を意見を出し合ったりして調べた。

班のメンバーは日本の教育に どのような疑問を持っていたのか

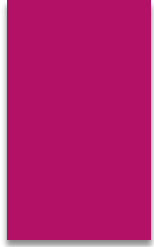
パソコンはあるけど教科書も別にあるから重たかった。

YouTubeなどを利用した学習(英語など)

英語のルールや論の組み立て方などを体系的な教育の不足。

英語の授業の際、辞書は不要だった。

小学校の時の方が自分が発言する機会が多かった。



日本全体で共通した問題が蔓延っているのではないか

フィンランドの教育現場

- ▶ フィンランドの教員は大学院修了が条件→教員の質が高い
- ▶ 教育費が無償
- ▶ プログラミングや芸術分野の教育に力をいれている。
- ▶ 小学校の段階から情報リテラシーの重要性を訴えている。

日本での取り組み

▶ ICTの活用 埼玉県さいたま市

一人一台タブレットを支給することによって不登校児を支援している。



2022年4月から開始していて、職員たちが信頼関係を築くことを重視している。



生徒や保護者の励ましの声を聞き、毎月参加する人が増えている。

▶ デジタル教科書

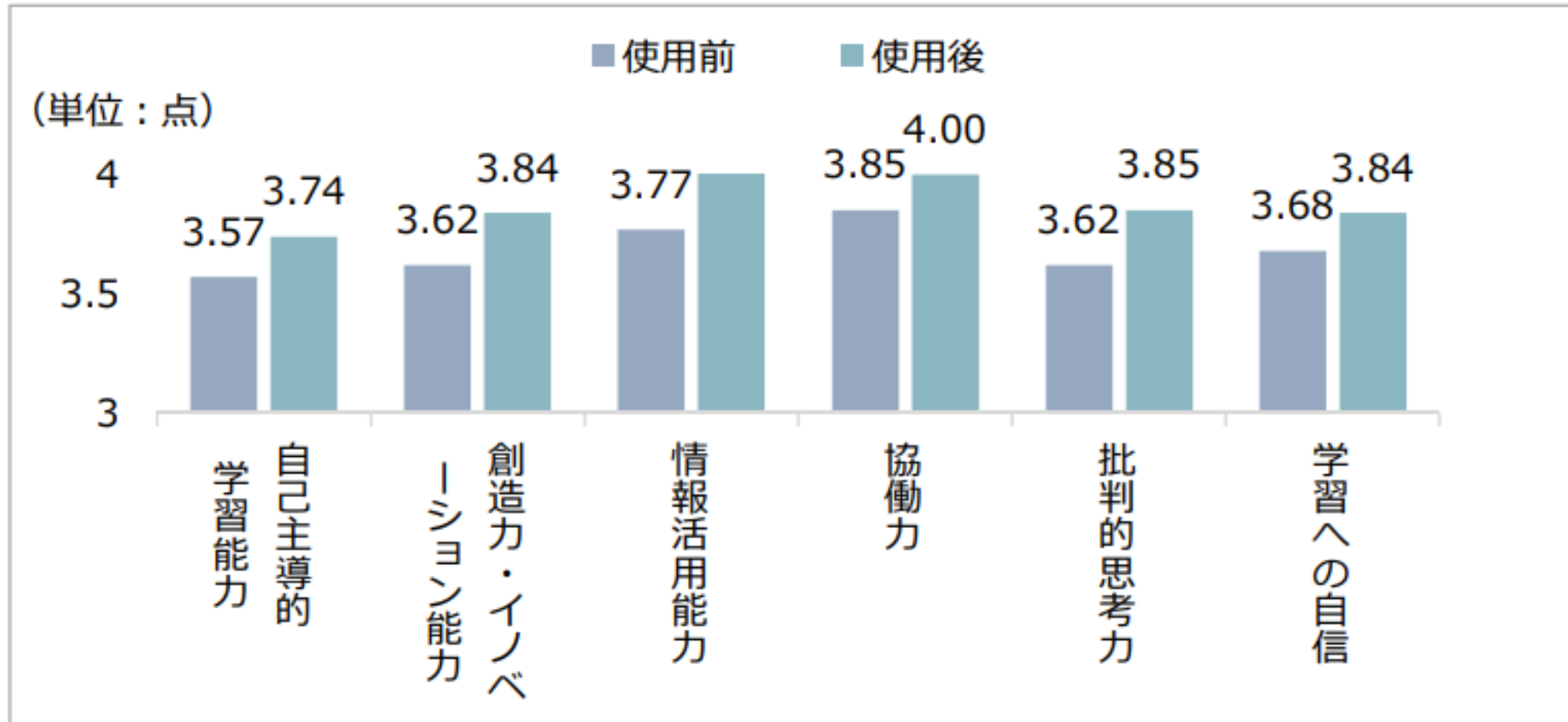
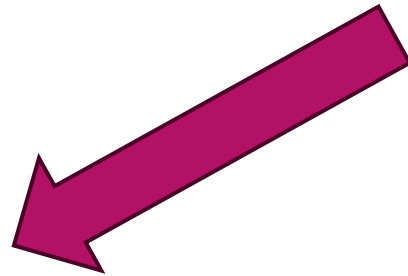


図1 研究校におけるデジタル教科書使用前後の学習者の能力の変化
(5段階評価) (2017年) ※4

理想の授業とは？



日本での取り組み

▶ 外国語教育

日本は英語の授業が少ない

→ 英語力が他の国に劣ってしまう。

例: 英語能力指数ランキング

[英語能力指数](#) | [EF 英語能力指数](#) | [EF 日本 \(efjapan.co.jp\)](#)



日本の調査報告

113か国および地域中

#87 日本

能力レベル: 低い

アジアでの順位: 15 / 23



今年の第1位

113か国および地域中

#1 オランダ

能力レベル: 非常に高い

ヨーロッパでの順位: 1 / 34

非常に高い

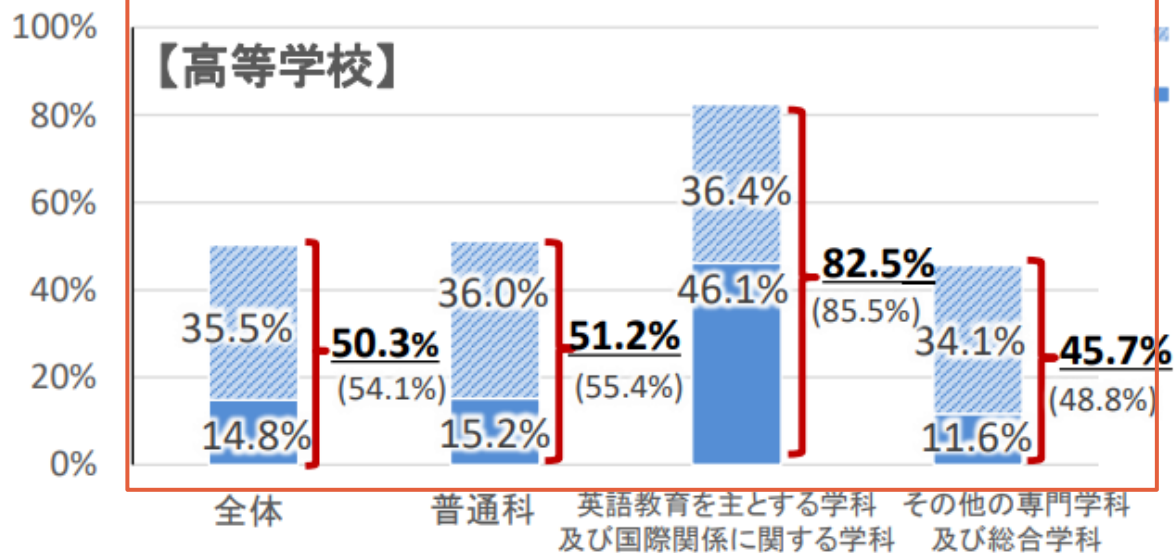
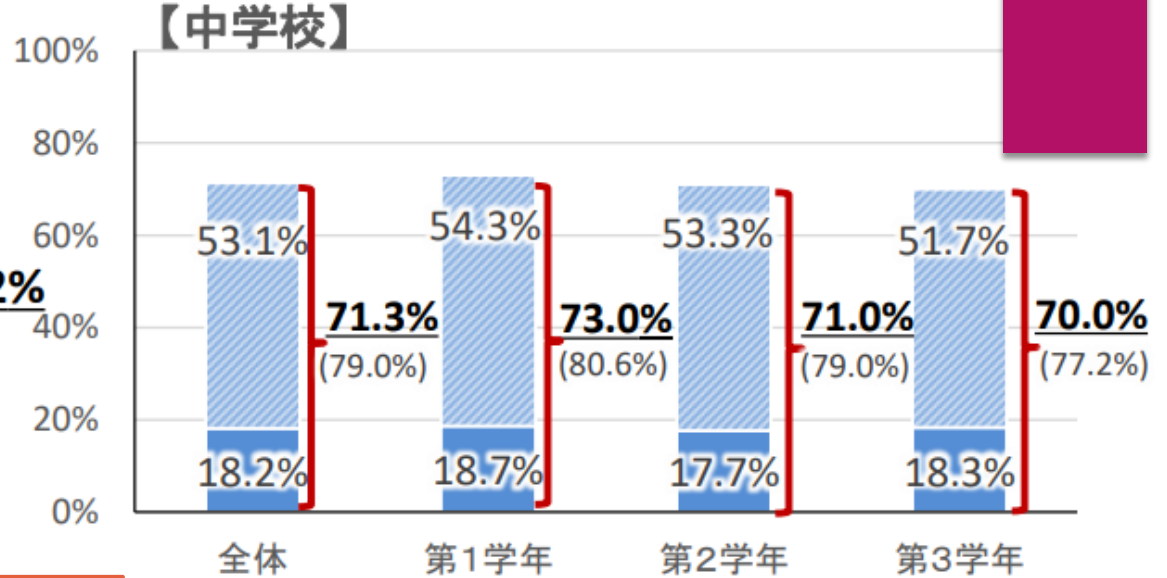
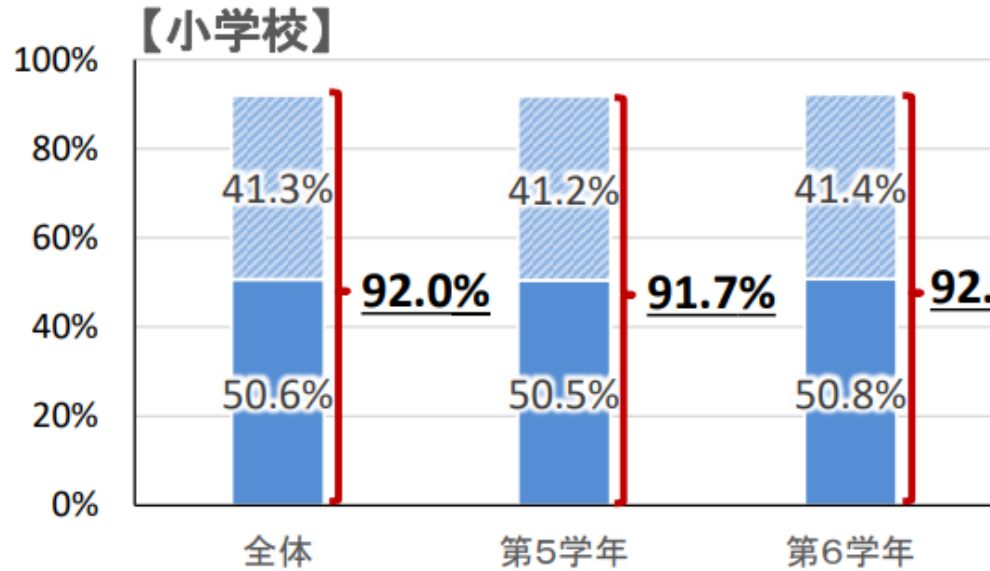
高い

標準的

低い

非常に低い

1	オランダ (647)	13	ポーランド (598)	31	ホンジュラス (544)	64	パキスタン (497)	92	パレスチナ (445)
2	シンガポール (631)	14	フィンランド (597)	32	ジョージア (541)	65	レバノン (496)	93	ウズベキスタ ン (442)
3	オーストリア (616)	15	ルーマニア (596)	33	ベラルーシ (539)	66	トルコ (493)	94	カメルーン (438)
4	デンマーク (615)	16	ブルガリア (589)	34	ガーナ (537)	67	スリランカ (491)	94	セネガル (438)
5	ノルウェー (614)	17	ハンガリー (588)	35	スペイン (535)	67	タンザニア (491)	96	ヨルダン (431)
6	スウェーデン (609)	18	スロバキア (587)	35	イタリア (535)	69	エチオピア (490)	97	スーダン (430)
7	ベルギー (608)	19	ケニア (584)	35	モルドバ (535)	70	ブラジル (487)	98	カンボジア (421)
8	ポルトガル (607)	20	フィリピン (578)	38	コスタリカ (534)	71	アラブ首長国 連邦 (486)	98	ハイチ (421)
9	南アフリカ (577)	21	リトアニア (576)	39	アルバニア (533)	71	パナマ (486)	100	オマーン (418)
						73	モンゴル (418)		



■ 半分以上の時間、言語活動を行っている(50%程度以上～75%程度未満)
■ 授業中、おおむね言語活動を行っている(75%程度以上～)

(※参考) 中学校 外国語：目標
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

※割合の合計は、小数点第2位切り上げ前の数字を合計して算出しているため、小数点切り上げ後の割合の和と一致しないことがある。
※ () 内は、一昨年度(令和元年度)の値。

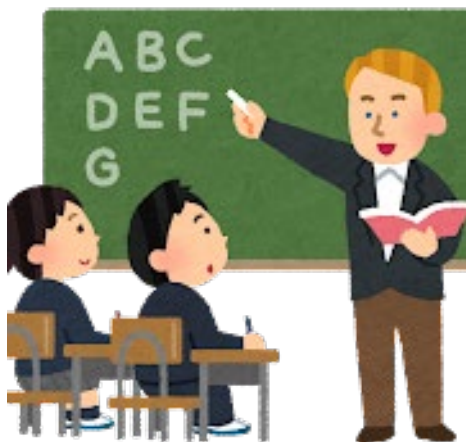
考察(外国語教育)

教科書内の英語しかほとんど学ばない

日常生活の英語×

英語の学習時間が少ない

英語への苦手意識



英語の苦手意識をなくす

日本での取り組み

▶ 校則

日本→内容が多い、髪型や見た目に関する規則も

海外(アメリカ等)→内容は少なく服装見た目に関するもの少ない
破った際の罰は厳しい(停学、退学等)

校則の必要性を説明

考察(校則)

▶ 海外(アメリカ)

少ない
必要最低限

厳しい処罰
厳守

▶ 日本

多い
学習に関する以外のものも

注意
指導

考察(教育全般)

▶ 海外(フィンランド)

生徒全体の教育水準を
底上げしている

早い段階から現代を生き抜く
力を身につける

▶ 日本

良い部分もあるが疑問を
呈する意見も多々あった。

従来の方法では難しい問題
をICTの活用で解消されつつある